

「CURABLE CASE」

「治療が可能な症状」

目の不完全さを軽くするためにメガネを掛けている患者たちの目が回復した時には、今まで経験したことがなかったほどに、裸眼で良く見えるようになる可能性があります。

遠距離は支障なく以前と同じに良く見えるけれども中年になって、近景はメガネが必要になったという人の目も治療が可能です。

また、メガネを掛ければ良く読めるので支障はないと云っている患者たちが不平を云うのは目に一番良い一定の距離に見ている頁を保たなければならないことを原則としている。正常な目は読む字までの距離範囲は、普通30センチ位です。

人によっては、本、新聞など読書用メガネが必要ですが、距離があるともう一つのメガネがなければ判明に見えません。

遠距離用のメガネの他に、もう一つのメガネが必要になります。例えば音楽家には、読書用のメガネだけでは、ピアノを弾きながら楽譜を読むことが出来ませんから30センチよりも近くを見るためにもう一つ別のメガネが必要になります。また、もっと遠くを見るためにも、別のメガネが必要です。幾人かの患者は、私におびたしい数のメガネを見せ、それぞれが特別の距離に対して使われるのだと云いました。そのような人たちにとって視力の回復は、大きな安堵です。何故ならば遠距離の物がはっきり見えるだけでなく、たとえば15センチで見える印刷物を遠くへ移しても同様に見えるようになります。

正常な視力の人、いかなる距離に対しても、不快感なしに焦点を自由に変更できるのです。白内障、緑内障その他の目の症状の人は眼鏡を掛けても見えない可能性があります。私の療法で回復した患者は、明るい光、薄暗い処など、全ての照明の下で物を正常に見ることが出来ます。目の痛み、疲れ、その他の不快感は全て和らぎます。

Q and A

Q1、視力シートの下から2段目が見える日もあるのに、時には下から5,6段目しか見えません、何故でしょうか？

A1、目の緊張が少ない時は、いつでも視力が上がり遠くも良く見えるのです。

Q2、ベイツメソッドの指示に従えば、白内障は眼科医に相談しなくてもよくなりますか？

A2、はい、良くなります。

Q3、記憶と想像は同じものですか？ある物を見た時、それを心に描いてみるべきですか？

A3、はい、その物を思い出して、瞬間的に心に描いてください。完全に記憶した場合は、あなたが見た物をいつでも思い出せます。